

SIGMACOVER™ 522

シグマカバー 522

説明

2液性 MIO含有塗料 ポリアミド硬化エポキシプライマー (下塗り) 塗料

特長

- ・ ジンクリッチプライマー、金属溶射スチールの密着性、シーリング性に優れている。
- ・ 適切に事前処理された亜鉛メッキ鋼の良好な密着性
- ・ 大気または水に浸透された暴露条件で使用可能
- ・ 工業的または化学的に汚染された大気暴露条件に対する良好な耐性
- ・ 耐摩耗性、耐衝撃性に優れている。
- ・ -196°C (-321°F) ~ 140°C (284°F)のクライオジェニックサイクリックテストに合格
- ・ 乾燥大気中暴露条件で最高 200°C (390°F) の温度に耐性

色相及び光沢

- ・ レッドブラウン、灰緑色
- ・ 低い金属光沢

20°C (68°F) での基礎データ

| 混合物のデータ | |
|-----------|--|
| 構成 | 2液性 |
| 密度 | 1.8 kg/l (15.0 lb/US gal) |
| 固形分 (容量) | 60 ± 2% |
| VOC (供給時) | Directive 2010/75/EU, SED: 最大 210.0 g/kg 最大 374.0 g/l (約 3.1 lb/gal) China GB 30981-2020 (tested) 394.0 g/l (approx. 3.3 lb/gal) |
| 推奨膜厚 | 40 - 100 µm (1.6 - 4.0 mils) 塗装仕様による |
| 理論塗布量 | 15.0 m²/l - 40 µm (602 ft²/US gal - 1.6 mils) 6.0 m²/l - 100 µm (241 ft²/US gal - 4.0 mils) |
| 指触乾燥 | 2 時間 |
| 塗装インターバル | 最短: 8 時間 最長: 1 ヶ月 |
| 完全硬化 | 7 日 |
| 貯蔵安定期間 | 基剤: 24 ヶ月 (乾燥した冷暗所にて保管した場合) 硬化剤: 24 ヶ月 (乾燥した冷暗所にて保管した場合) |

注意点:

- 追加データ参照 - 塗布量及び膜厚
- 追加データ参照 - 塗装インターバル
- 追加データ参照 - 硬化時間

SIGMACOVER™ 522

シグマカバー 522

推奨素地調整 及び 被塗面温度

被塗面状態

- 鋼板; プラスト処理 ISO-Sa2½、表面粗度 40 – 70 µm (1.6 – 2.8 mils)
- シヨップ鋼板; スイーププラスト/SPSS-Ss またはパワーツール処理/SPSS-Pt3
- 有機ジンク塗料及び無機ジンク塗料は乾燥していて、異物等の付着がないこと。
- 亜鉛めっき鋼板; 環境暴露状態はディスクサンダー処理、浸水暴露状態はスイーププラスト処理が必要となる。
- ステンレス鋼、非鉄金属は軽いサンディングによって十分な目粗しすること。
- 適合する被塗面は乾燥し異物の付着がなく清浄であること。
- 接着プライマーとして、または長い塗装インターバルが予想される場合は、粗い質感を維持するために 50 µm (2.0 mils) 以上のDFTを指定する必要があります。

被塗面温度

- 塗装中及び硬化中の被塗面温度は 10°C (50°F) より高いこと。
- 塗装中の環境温度 5°C (41°F) まで可能であるが、硬化には時間を要し、気温が上昇すれば完全硬化する。
- 塗装中及び硬化中の被塗面温度は少なくとも露点より 3°C (5°F) 以上高いこと。

使用上の注意

混合比 (容量): 基剤 : 硬化剤 = 82 : 18

- 15°C (59°F) より高温な塗料が塗装に適しており、適合する塗料温度に満たない場合は粘度調整の為、さらにシンナーの添加が必要になる。
- 過剰なシンナーの添加は塗料のタルミ性の低下を引き起こす。
- シンナーは基剤と硬化剤の混合・攪拌後に添加すること。

熟成時間

なし

可使時間

8 時間 (20°C (68°F))

注意点: 追加データ参照 – 可使時間

エアスプレー塗装

希釈シンナー

THINNER 91-92

希釈率

10 - 30%、(規定膜厚や塗装条件による)

チップサイズ

1.5 - 2.0 mm (約 0.060 - 0.079 in)

2次圧

0.3 - 0.4 MPa (約 3 - 4 bar; 44 - 58 p.s.i.)



SIGMACOVER™ 522

シグマカバー 522

エアレススプレー塗装

希釈シンナー

THINNER 91-92

希釈率

5 - 10%, 30 - 40% (ミストコートをした場合)

チップサイズ

約 0.48 - 0.53 mm (0.019 - 0.021 in)

2次圧

12.0 - 15.0 MPa (約 120 - 150 bar; 1741 - 2176 p.s.i.)

刷毛/ローラー塗装

希釈シンナー

THINNER 91-92

希釈率

0 - 5%

追加データ

| 塗布量及び膜厚 | |
|-------------------|--|
| DFT | 理論塗布量 |
| 40 µm (1.6 mils) | 15.0 m ² /l (602 ft ² /US gal) |
| 100 µm (4.0 mils) | 6.0 m ² /l (241 ft ² /US gal) |

| DFT 50 µm (2.0 mils) までの塗装インターバル | | | | | | |
|----------------------------------|--------|------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 重ね塗り塗料 | インターバル | 5°C (41°F) | 10°C (50°F) | 20°C (68°F) | 30°C (86°F) | 40°C (104°F) |
| 2液性 エポキシとポリウレタン | 最短 | 36 時間 | 16 時間 | 8 時間 | 6 時間 | 4 時間 |
| | 最長 | 6 ヶ月 | 6 ヶ月 | 6 ヶ月 | 3 ヶ月 | 3 ヶ月 |

SIGMACOVER™ 522

シグマカバー 522

DFT 100 µm (4.0 mils) までの塗装インターバル

| 重ね塗り塗料 | インターバル | 5°C (41°F) | 10°C (50°F) | 20°C (68°F) | 30°C (86°F) | 40°C (104°F) |
|--------------------|--------|------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 2液性 エポキシとポリウレタン | 最短 | 3 日 | 32 時間 | 16 時間 | 12 時間 | 8 時間 |
| | 最長 | 28 日 | 28 日 | 28 日 | 14 日 | 7 日 |

注意点:

- 被塗面は乾燥し異物等の付着がなく清浄であること。
- 既存の古い (アルキド) プライマーまたは塗料の上にSIGMACOVER 522を塗布する場合は、最短塗装時間を5倍にすること。
- 表面は適切に洗浄されていること。
- 光沢仕上げには対応する下塗り処理が必要である。

DFT 100 µm (4.0 mils) までの硬化時間

| 被塗面温度 | 指触乾燥 | ハンドリング可能 | 完全硬化 |
|-------------|--------|----------|------|
| 5°C (41°F) | 8 時間 | 18 時間 | N/A |
| 10°C (50°F) | 5 時間 | 8 時間 | 15 日 |
| 15°C (59°F) | 3.5 時間 | 6 時間 | 10 日 |
| 20°C (68°F) | 2 時間 | 4 時間 | 7 日 |
| 25°C (77°F) | 1.5 時間 | 4 時間 | 5 日 |

注意点:

- 塗装中及び硬化中は適切な換気を維持すること
- タンク塗装システムで最適な耐性を得るには、10°C (50°F) 以上の被塗物温度が不可欠です。

可使時間 (塗装可能粘度)

| 混合塗料温度 | 可使時間 |
|-------------|-------|
| 15°C (59°F) | 10 時間 |
| 20°C (68°F) | 8 時間 |
| 25°C (77°F) | 6 時間 |
| 30°C (86°F) | 5 時間 |
| 35°C (95°F) | 4 時間 |

安全予防策

- 安全性と予防措置の要件については、安全データシートと製品ラベルを参照してください。
- 本製品は溶剤型塗料のため、スプレーミストや蒸気の吸引、塗料の皮膚、眼への接触に注意すること。

ワールドワイド対応

PPG Protective and Marine Coatings (PPGプロテクティブ&マリン コーティングス) は、常に世界中どこでも同じ製品を供給することを目標としています。

しかしながら、地域や国内の法規/状況を順守するにあたって、製品の微調整が必要となる場合があります。その場合は、代替の製品データシートが使用されます。

SIGMACOVER™ 522

シグマカバー 522

参照

- プロダクトデータシートの説明

INFORMATION SHEET

1411

保証

PPGは、(i) 製品の所有権、(ii) 製品の品質が、製造時点において PPGが定める製品仕様に基づいていること、ならびに (iii) 製品は第三者のいずれの米国特許権も侵害していないことを保証します。これは PPG による唯一の保証であり、商品性、特定用途および目的への適合性、非侵害性、権原、または制定法あるいはそれ以外の法律、もしくは取引の過程、履行の過程、慣習法、または取引慣行により生じる保証をはじめとして、明示または黙示を問わず、あらゆる種類の保証も行わず、または明示的に責任を排除します。本保証に基づきいかなる請求も、購買者が当該欠陥や不具合を発見してから5日以内に PPG に対して書面で行うものとし、また製品に適用される保管期間、あるいは購買者または購買者が指定する配達先に商品が届けられた日から起算して1年のいずれか早い方が過ぎていないことを前提とします。購買者が本規定に適合しないことを PPG に通知しなかった場合、購買者は本保証に基づく担保責任の追及をすることはできません。

賠償責任の制限

PPGは、いかなる場合も、製品の使用に関連または起因する、あるいは結果としての間接的、特別的、付随的、派生的な（過失、厳格責任、不法行為のいずれを原則とするかに関係なく）損害回復の理論に基づく一切の責任を負わないものとします。本書の情報はガイダンスのみを目的に作られたものであり、PPG が信頼に値すると考える臨床実験を基にしたものです。

PPGは、実地経験および継続的な製品開発の結果として、いつでも本書記載の情報を修正することができます。

PPG製品の使用に関する推奨や示唆は、それらが技術文書内で用いられているかどうか、あるいは特定の問い合わせに対する回答に関わらず、PPGが知り得る限りにおいて信頼できるデータに基づくものとします。

製品および関連する情報は、当該産業における必須知識および技能を有するユーザーを対象としており、製品が個々の特定利用に適しているかどうかの判断は、ユーザーの単独責任であり、購買者は独自の裁量権とリスク引受において行うものと見なされます。

PPGは、基質の品質または状態、あるいは製品の使用や用途に影響を及ぼしうる数多くの要素については管轄外であり、(契約書に明記されている場合を除き)本情報の使用や内容に起因する損失、被害、損害の責任を一切負わないものとします。

適用する環境の変化、使用手順の変更、データの補完に伴い、不十分な結果がもたらされる場合がありますが、本書は先行するあらゆるバージョンに優先し、製品の使用に先立って、本情報が現行のものであるかの確認は購買者の責任とします。すべての PPG Protective & Marine Coatings Products (PPGプロテクティブ&マリンコーティングス製品) の最新データシートは、www.ppgpmc.comにて閲覧可能です。また本書の英語版は他の翻訳版に優先するものとします。

